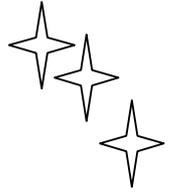
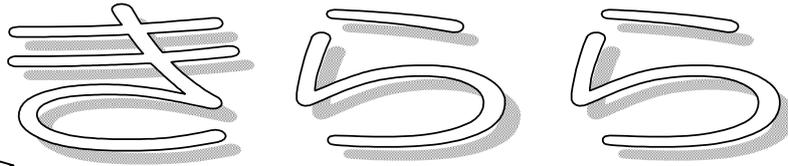


葦山南小学校  
学校だより

回覧



令和5年10月27日(金) 第7号



## 第41回修学旅行を終えて

校長 植松 研吾

穏やかな秋晴れの下、修学旅行を計画どおりに実施しました。子供たちが決めたスローガンは、「Best memories～友と創り上げる 笑顔の旅」です。鎌倉市&東京都という人流の多い目的地なので、バスの車内や混雑している場所ではマスクを着用し、感染症に対する万全の対策を取り、思い出に残る二日間を過ごしました。

簡単ではありますが、修学旅行記を書かせていただきます。

### 【一日目】鎌倉市内&東京都内

6年生全員が6:15までに集合し、出発式を行いました。6:30に出発し、いざ鎌倉市に向かいました。途中で美しい富士山や湘南の海岸、江ノ島、アニメファンの聖地となっている江ノ島電鉄の鎌倉高校前駅の踏切を眺め、子供たちの修学旅行への思いがますます高まりました。車内レクリエーションでは自作のクイズ大会で大いに盛り上がり、2号車(1・4組)内で「このクイズを作ってくれたのは、2組のレク係さんです」と伝え、拍手が起こりました。この拍手については、2号車のバスガイドさんが1号車のバスガイドさんに「今までに見たことがない素敵なお姿」と伝えてくれたそうです。

最初の見学場所の「高德院」では、鎌倉大仏を見学しました。大仏殿は津波等によって壊され、現在は露座の大仏ではありますが、朝日を浴びた大仏の大きさと穏やかな表情に感動しました。写真や動画は、本物には敵いません。百聞は一見に如かずですね。

「鶴岡八幡宮」では、まず本宮を参拝し、歴史上有名な銀杏の横にある大石段を下り、舞殿等を見学したり、定番の鳩サブレーやお守り等を購入したりしました。そして、おみくじを購入した子は、「吉」「凶」という結果に一喜一憂していました。

車内で弁当を食べながら鎌倉市を後にして、いよいよ東京都に向かいました。

「東京国際空港(羽田空港)」では、第2ターミナルに入りました。展望デッキでは、轟音を立てて離着陸する飛行機を見て「すごく重い機体が飛ぶ理由を知りたい」という声が上がりました。近くにいた私とその理由を簡単に説明しましたが、「鉄製の重い大型船が海に浮かぶ理由」と同様で、子供ならば誰もが疑問に感じることです。そして、『STAR WARS』『鬼滅の刃』をラッピングした飛行機を見た子や有料望遠鏡で飛行機の様子を観察する子もいました。お土産として、多くの子がANAのオリジナルグッズを購入しました。世界一きれいな空港は、日本人として自慢できる空港です。

「最高裁判所」では、滅多に入ることのできない大法廷に入り、傍聴席に座って説明を聞きました。長官と14名の最高判事が座る椅子、傍聴席のすぐ前には検察官席と弁護士席があるけれど、証言台がないことを知りました。また、壁に掛けられているタペストリーの意味や、年間で受け付けられている事件の件数等についての説明がありました。

「国会議事堂・衆議院」では、静岡県東部地区選出の衆議院議員さんをお願いをして本

会議場の傍聴席において詳しい説明をしていただきました。説明をしっかりと聴き、次々に質問する子供たちに対して議員さんからお褒めの言葉をいただきました。議事堂の外に出て集合写真を撮影する前に、中央玄関の扉が開いていることに気付きました。中央玄関は普段閉められています、「国会の開会式に天皇陛下をお迎えするとき」「選挙後の国会召集日に議員が登院するとき」「外国の元首が御訪問の際」のみに開かれます。翌日、臨時国会が召集されて天皇陛下をお迎えするので、前日リハーサルを行っていたようです。年間三回ほどしか開かない扉が開いているのを見ることができ、幸運でした。

宿泊先の「ホテルモンテ半蔵門」は、小綺麗なホテルでした。夕食はセットメニューで、ほとんどの子が完食していました。部屋に戻ってオートロックで締め出された子もあり、22:00の消灯時に部屋から廊下に声が聞こえていましたが、22:30以降はとても静かになり、ぐっすり眠った子が多かったと思います。でも、夜中に友達と大声で話していて、〇〇先生に叱られた子もいました。おそらく、〇〇先生は睡眠不足でしたね。

## 【二日目】東京都内

4:30に目覚めた子もいたようですが、6:00に起床して朝食のセットメニューをいただきました。部屋の片付けについてはほぼ完璧で、出発時刻が20分も早くなりました。退室時に、客室係宛ての感謝のメッセージをベッドの上に置いてきました。このメッセージは去年の6年生から引き継いだもので、きっと喜んでくれたことでしょう。

「浅草寺」では本堂でお参りし、「雷門（風雷神門）」では提灯の大きさに驚き、「仲見世商店街」では人形焼き等のお土産を購入しました。3月まで教頭先生を務めてくださった牧野宏之校長先生（長岡南小）に偶然出会い、笑顔で挨拶を交わしていました。

「東京スカイツリー」では、高さ350mの天望デッキに上り、360°の大パノラマを楽しみました。富士山を遠望することはできませんでしたが、東京都内を一望したり、東京ディズニーランドを見付けたりしてとても喜んでいました。ガラス床に乗って「怖い！」「すごい！」「割れない？」を連発する子もいれば、そこを避けて移動する高所恐怖症の△△先生もいました。下りのエレベーターが大混雑していたため、集合時刻に間に合わない子もいましたが、多くの子が東京スカイツリーに因んだお土産を購入しました。

昼食場所の「ルミネ池袋・は一べすと」では、buffet形式の昼食を楽しみました。一般客と席が近かったものの、迷惑を掛けることもなく、多くの子が3～4回ほどお代わりをし、完食するというマナーを守っていました。ドリンクバーも好評でした。

最後の見学場所である品川の「第三台場公園」では強風の中、第三台場築造150周年記念として本校6年生が2004年10月の修学旅行中に植えた河津桜を見たり、葦山反射炉で铸造された大砲を設置した砲台跡を見学したりしました。江川太郎左衛門英龍の業績だけではなく、台場と葦山との繋がりを実感することができました。葦山の大先輩が造り上げた台場を訪れたことで、葦山の子であることに誇りをもってほしいと思いました。

帰路では、昨年度と同様に「まだ帰りたくない」「東京に戻りたい」という声が聞かれました。でも、「人が多すぎるので、東京には住みたくない。やっぱり、葦山の方がいいね」という声も聞かれました。さすが、愛郷心溢れる「きららの子」ですね。

事故渋滞のため、車内で解散式を実施し、学校到着が予定時刻よりも10分ほど遅くなりましたが、全員が無事に帰校して全旅程を終了しました。わずか二日間の旅行でしたが、友達と大いに関わり、全員の笑顔と心の成長が見られ、心に残る最高の思い出を作り、スローガンを達成することができたと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様には旅行の準備や送迎等につきまして御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。残り五か月間となりました6年生の小学校生活がますます有意義になることを願っております。

